

街づくり

「アート&デザインの街」をめざして

ヨコハマポートサイド地区の街づくりにおいて検討されたのは「個性豊かな街づくり」をめざすということでした。生活の価値観も物質面から精神面へと移っていき文化や芸術に関心が寄せられるようになり、また社会背景も高齢化、情報化、国際化が進むようになっていきます。

街づくりにおいても高齢化社会にふさわしい、人に優しい街づくり進めて行くことになりました。

こうして検討されたのが「アート&デザインの街」というコンセプトを持った街としてアートやデザインに取り組み、それを主幹とした街づくりを目指すことでした。



ヨコハマポートサイド地区の街のコンセプト「アート&デザインの街」は街づくりを目指して30年を迎えます。「アート&デザイン

の街」としてどのように目指して行くかはこれから先の課題といえるでしょう。

アート&デザインと色彩

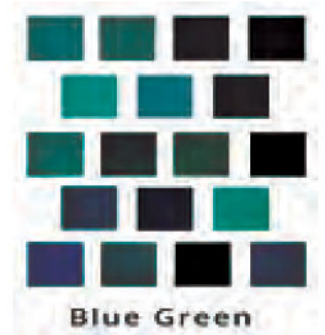
「アート&デザインの街というテーマに沿った街づくりのなかで、ポートサイドの色も特徴を表す重要な要素として挙げられました。

ヨコハマポートサイド地区街づくり協定第7条第5項第3号の規定に基づいて「カラーガイドライン」が設定されました。



【カラーガイドライン】

- キーカラー
- 【テラコッタ】
地面を象徴する色
- 【ブルーグリーン系】
ウォーターフロントにおける水との関係、高層建築が空と溶け込む色



街づくり協議会

ポートサイド地区の再整備が本格化した1985年（昭和60年）に、現在の街づくり協議会の元となるポートサイド地区懇親会が発足しました。ポートサイド地区懇親会は地区全体を統一的に開発するため未来型のライフスタイルに対応した住宅の企画を中心にまちづくりの研究を行いました。

その後、1986年（昭和61年）に懇談会を業務と住宅ゾーンに分けた分科会方式とし、さらに1987年（昭和62年）に住宅ゾーンの機能が強化され、ヨコハマ・ポートサイド・ユニティ（略称 YPU）が設立されました。

現在のポートサイド地区の開発コンセプトの「アート&デザインの街」は YPU の最初の成果として1988年（昭和63年）に発表されました。このコンセプトは都市横浜が持つ歴史的遺産と新たな時代の要請とという新旧のニーズを組み入れた考え方であり、ポート

サイドをアートが日常生活の中に入り込み環境化し、街のデザインが人々の行動基準となるような街づくりをめざすことでした。

そして、これを実現させるため1989年（平成元年）12月に「街づくり協定」が締結され、「ヨコハマポートサイド街づくり協議会」が



▲街づくり協議会 HP から引用

発足しました。

街づくり協定は街づくりの基本理念に始まり、土地利用や歩行者ネットワーク、ポートサイド公園、ギャラリーロード等の基盤施設、建物の用途、形態・意匠等の建築計画、さらに環境対策や高水準の駐車場整備等の都市管理まで広範囲にわたった内容が定められています。

ポートサイド地区の街づくりは、従来のに

ぎわいのない街を人が集まるにぎわいのある場所に変えていこうとするものですが、一方でそのにぎわいの創出を他の地区にない新しい考え方で生み出していこうとするものです。そしてそのコンセプトとして「アート&デザイン」があり、これを開発地域全体に浸透させ、統一性を図っていくことが街づくり協議会の与えられた重要な使命と考えられます。



▲ヨコハマポートサイド地区全景

ポエム商店会 (Portside Eternal Meeting)

ヨコハマポートサイド商店会 (ポエム)

ヨコハマポートサイド地区は開発事業により、港横浜のイメージを変え「生活と文化」に密着した、これまでの都市環境には無かった个性的でより人間味豊かな都市へと変えてゆく先駆者的な役割担う街として、また中区にある元町をイメージし「アート&デザイン」の街づくりに沿った店舗づくりが考えられました。話し合いの場として当初この地区に出店した22店舗を中心に1994年（平成6年）3月にオープンしました。しかし開発後のヨコハマポートサイド地区の環境づくりは一向に進展せず、当初E-1街区内のYCS（横浜クリエーションスクエア）に出店していた

海外輸入専門雑貨店や大型飲食店等が移転しポエム商店会は現在活動を中止しています。

この30年経ったことを機会に新しい「ポエム商店会」を立ち上げ、「アート&デザイン」の街に沿った商店会に期待したいところです。



▲発足時のポエム商店街

横浜シティ・エア・ターミナル (YCAT)

■ ポートサイド地区に開設

昭和53年、新東京国際空港（現：成田国際空港）の開港に伴い、神奈川県在住の航空旅客の増進のため、神奈川県及び横浜市のご支援を得て、横浜商工会議所をはじめとする地元経済団体により、昭和54年1月18日に会社を設立し、同年12月4日に神奈川区大野町（現：ポートサイド地区）にターミナルが開業され、東京空港交通、京浜急行バスの2社が成田空港へのリムジンバスの運行を開始しました。（昭和63年に京成バスが参入）

その後、日本政府によって昭和62年9月に策定されたテンミリオン計画（海外旅行倍増計画）の影響も受け、利用客数も増加しまし

たが、横浜駅東口の駅前開発に伴い、旧横浜スカイビルが建て替えられることとなり、ポートサイド地区から移転し、平成8年9月19日にバスターミナルとしての営業を終了しました。

その後は、バスの駐待機場及びバス乗務員の休憩・仮眠室等として、使用していましたが、平成17年にみなとみらい地区の内貿（耐震）バースに移転し、横浜市に寄付しました。平成29年にこれまで残されていた旧 YCAT の建物が解体され、跡地にはコミュニティスペースや防災機能拠点として防災備蓄庫などを備えたホライゾン学園が平成31年4月に開校しました。



◀旧 YCAT 外観



旧 YCAT ロビー▶

YCAT スカイビル移転

平成8年9月20日、新築された横浜スカイビル1階に移転開業し、成田空港線に加えて羽田空港線バスの運行を開始しました。その後、神奈川県内の近距離線や都市間高速バス乗り入れを進め、現在では、成田・羽田空港

線のリムジンバスを中心に横浜と日本各地（東北・北陸・甲信越・東海・近畿・中国地方の約80都市）を結ぶ高速バスが発着するバスターミナルとして営業しています。



▲現 YCAT ロビー

COLUMN □ケ地になったヨコハマポートサイド

●2006年「たったひとつの恋」

横浜駅東口からも近い「ポートサイド公園」。この場所で2006年（平成18年）10月から放送された横浜を舞台とするドラマ『たったひとつの恋』のロケが行われました。



◀ポートサイド公園

ポートサイド中央交差点▶
神奈川県横浜市神奈川区大野町



●2008年「オー！マイ・ガール」

大空ひなのマンション▶
神奈川県横浜市神奈川区栄町

